

大麦特報 - 第1号 -

令和5年9月
富山農林振興センター
富山市農業協同組合

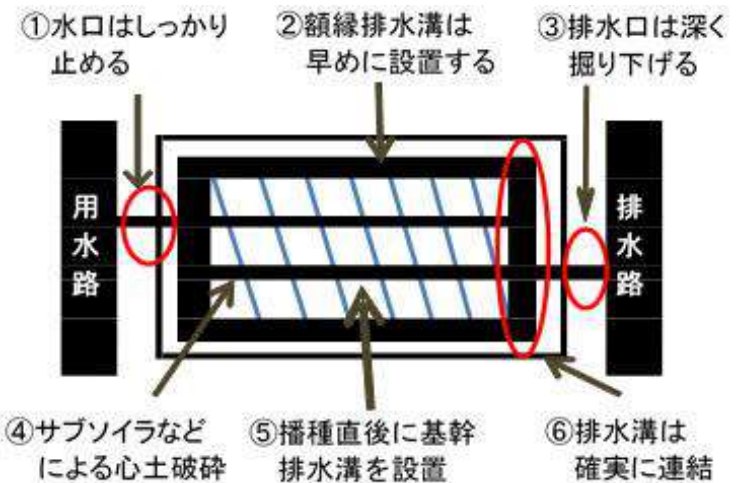
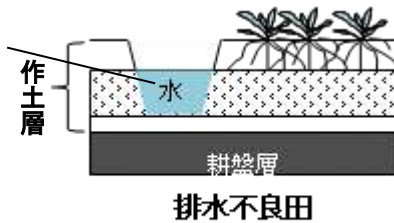
①早めの排水対策、②土づくり、③10月上旬の適期播種等の基本技術を徹底し、
高収量・高品質な大麦を生産しましょう！

1 排水対策の徹底

…稲刈後、速やかに額縁排水溝を設置！

- ・稲刈り後、幅30cm、深さ20cm以上の額縁排水溝を設置し、確実に排水口へ連結しましょう。また、水口はしっかり止めましょう。
- ・砕土率を上げるために、耕起・播種の前までに十分にほ場を乾かしましょう。

大麦は湿害に弱く、停滞水により根域が制限されると生育不良となるため、播種前からの排水対策が重要です！



2 土づくり・基肥

…pH6.0～6.5が最適！

- ・大麦の生育はpHが低いと大きく抑制されるため、耕起前にマグフミン（粒）を10a当たり100kg以上施用し、pH 6.0～6.5を確保しましょう。
- ・堆肥等の有機物も積極的に施用しましょう（発酵けいふんの場合、10a当たり100kg）。
- ・基肥は、Jコート大麦48号で10a当たり45kg程度を基本に、地力に応じて施用しましょう。

3 適正な播種

…播種は9月6半旬から計画的に行い、10月中旬までに完了！

<種子消毒>

- ・雲形病等の発生を防ぐため、種子消毒は必ず実施しましょう。

【種子消毒の方法】

「ベンレートT水和剤20」を乾燥種子重量の0.5%湿粉衣（乾燥種子10kg当たり200mlの水を加え、薬剤50gを均一に混ぜる）

<播種作業>

- ・播種は必ずほ場が乾いた状態で行い、耕起・播種・作溝の一連の作業は1日で完了させましょう。
- ・トラクターの速度は低速にし、できるだけ細かく砕土しましょう。
- ・出芽・苗立ちを揃えるため、播種深度は3cm程度とし、確実に覆土しましょう。
- ・除草剤を的確に使用し、大麦の生育量を確保しましょう（表1）。

表1 雑草防除（ドリル播き限定）

	除草剤名	10a 当たり使用量	使用時期	適用雑草
一般的なほ場	トレファノサイド粒剤 2.5	4～5 kg	播種後出芽前（雑草発生前）	1年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）
	トレファノサイド乳剤	200～300ml (希釈水量 100ℓ)	播種後出芽前（雑草発生前）	
カラスノエンドウが多いほ場	リベレーターG	4～5 kg	播種後～麦2葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)	1年生雑草
	リベレーターフロアブル	60～80ml (希釈水量 100ℓ)	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)	

※多量の降雨が予想される場合は、薬害の恐れがあるため散布を控えましょう。

表2 目標苗立数と播種量の目安

播種時期	目標苗立数 (本/㎡)	10a 当たり播種量
		ドリル播き
9月25～30日	140	6.0 kg
10月上旬	150	6.5 kg
10月中旬	200	8.5 kg

※播種が遅くなる場合は、播種量を増やしましょう。

<播種量の目安>

- ・播種時期に応じた播種量で目標苗立数を確保しましょう（表2）。

<播種後の排水対策>

- ・7～8mに1本の割合で、幅30cm、深さ20cm以上の基幹排水溝を設置しましょう。
- ・雨水が流れるように、基幹排水溝と額縁排水溝は確実に連結しましょう。

＜秋の農作業安全運動（8月20日～10月20日）実施中＞